

えひめの 給食だより

第104号

平成24年7月15日

編集・発行

財団法人

愛媛県学校給食会

〒790-0063

松山市辻町12番29号

☎ 089-924-7623

FAX 089-924-6304

就任あいさつ

会長 加戸守行



本年5月31日に愛媛県学校給食会の会長に選任されました。一昨年の11月30日に愛媛県知事を退任してより、長と名の付く役職には就かないことを宣明して今日に至りましたが、知事在任中に大変お世話になった和田理事長から懇切な御依頼がありましたので、古い話ではありますが、昭和49年春から51年秋までの2年半にわたる文部省学校給食

課長としての体験を想起しながら、寝た子が起き上がったつもりで、例外として、お引き受けすることといたしました。

私自身は、終戦後の食糧難の時代に、中学校時代にララ・ユニセフ物資の脱脂粉乳をバケツにお湯で溶かしたミルク給食で育ち、今日の健康体の自分があるのはそのお陰とも思っています。当時の貴重なカルシウムやたんぱく質の供給源であった脱脂粉乳

はその後国の補助金による生乳給食に引き継がれ、戦後の子供たちの体位向上に大きな役割を果たしたことは、高く評価されるべきことであります。

私の学校給食課長在任中の最大の仕事は米飯給食の導入でありまして、当時、余剰米の処理に困惑していた農政サイドからの働きかけで、学校への米飯給食の導入が強く要請されたこともあり、パンあり、麺あり、御飯ありの主食の多様化の見地から、自民党の文教部会に設置された学校給食プロジェクトチーム（三塚博座長）との二人三脚の（というより、それこそ政治主導での）一年がかりの取り組みで、全国を行脚し、食糧管理特別会計からの補助金による格安の政府米穀の供給を受けて、昭和51年から週2回を目標とした米飯給食をスタートさせることができました。一大転換期に巡り合わせた幸運が、今では懐かしい思い出となっています。

知事時代のスローガンは「愛と心のネットワーク」でしたが、愛媛県での学校給食が愛媛産品を主体にした「愛」のこもったものとなりますよう、関係する皆様とネットワークを組んでまいりたいと存じますので、どうかよろしく願いいたします。

平成24年度 (財)愛媛県学校給食会 理事・監事・評議員

役職名	氏名	現職	役職名	氏名	現職
会長	加戸 守 行	愛媛県学校給食会理事	評議員	福 本 教 次	新居浜市立泉川小学校長
副会長	西 原 透	今治市教育委員長	評議員	國 田 武 弘	西条市立大町小学校長
副会長	大 野 和 憲	東温市立南吉井小学校長	評議員	清 水 伸	上島町立弓削中学校長
理事長	和 田 典 夫	愛媛県学校給食会理事	評議員	井 原 渉	今治市立波方小学校長
理 事	黒 田 伸 夫	久万高原町教育委員長	評議員	岡 田 昌 子	松山市立旭中学校長
理 事	増 池 武 雄	八幡浜市教育委員会教育長	評議員	渡 部 哲 也	久万高原町立面河小学校長
理 事	篠 永 秀 子	四国中央市寒川小学校長	評議員	二 宮 一 成	伊方町立水ヶ浦小学校長
理 事	黒 田 道 代	西予市立中筋小学校長	評議員	赤 松 伸 二	宇和島市立遊子小学校長
理 事	武 井 敦	内子町立大瀬小学校長	評議員	松 廣 歩	愛南町立柏小学校長
理 事	上 田 敏 彦	鬼北町立日吉小学校長	評議員	篠 原 茂	三島学校給食センター所長
理 事	白 石 清 美	大洲市立栗津小学校長	評議員	伊 藤 繁次郎	新居浜市学校給食課長
理 事	五 藤 修 一	八幡浜市立川之石小学校長	評議員	西 坂 幸 明	小松学校給食センター所長
理 事	三 好 猛	愛媛県PTA連合会副会長	評議員	青 木 隆 弘	東温市学校給食センター所長
理 事	攝 津 眞 澄	愛媛県PTA連合会副会長	評議員	大 内 広 志	砥部学校給食センター所長
理 事	武 田 憲 成	愛媛県PTA連合会副会長	評議員	尾 花 仁	久万学校給食センター所長
理 事	中 村 和 憲	料理研究家	評議員	菊 地 一 彦	八幡浜市学校給食センター所長
監 事	武 田 廣 香	砥部町立宮内小学校長	評議員	谷 口 良 二	伊方町学校給食室長
監 事	小 西 奉 文	鬼北町学校給食センター所長	評議員	小 堀 孝	御荘学校給食センター所長
監 事	泉 宗 義 宏	愛媛県PTA連合会副会長	評議員	角 田 智 恵	愛媛県PTA連合会副会長
			評議員	神 野 早 苗	愛媛県PTA連合会副会長

「教材ビデオ・DVD等貸出」のご案内

当財団には、教材用ビデオ及びDVD等が何点かありますので一部紹介いたします。
学校等での授業などにご活用いただけたらと思いますので、ご希望の方はご連絡ください。



学校の管理下における食物アレルギーへの対応 －教職員の共通理解を深めるために－

(DVDの概要)

学校において食物アレルギーの事故を起こさないためにはどうしたらよいのか、また、万一、児童生徒が食物アレルギーやアナフィラキシーを起こしてしまった場合にはどうすればよいのかという対応法について、分かりやすく説明しています。

取扱食品中の放射性物質の試験について

・目的

当財団では、安心・安全な食品を供給するため、公的検査機関への委託により取扱食品中の放射性物質の試験を行うこととしました。

基準値を超える試験結果が得られた食品については、直ちに取扱いを中止するための試験ではありますが、試験結果を公表することが、学校給食の安心につながることを願い、公表します。

・試験対象食品の選定基準

製造過程及び流通过程において放射性物質試験の記録のない食品の中から別途定める基準により選定します。

・検査方法等

1. 検査委託先 愛媛県立衛生環境研究所
2. 検査方法 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線核種分析
3. 検査項目 セシウム134、セシウム137、ヨウ素131
4. 検出限界値 5.0Bq/kg

(参考) 厚生労働省の定める食品中の放射性物質の基準値（平成24年4月1日から適用）

(単位：Bq/kg)

食品群	一般食品	乳幼児食品	牛乳	飲料水
基準値	100	50	50	10

食品の放射能検査結果

番号	食 品 名	原料産地又は 製造工場所在地	検査結果（Bq/kg） ※検出限界値5.0Bq/kg				試料受付 日 時
			放射性セシウム（セシウム134及び137の合計）			ヨウ素131	
			セシウム134	セシウム137			
1	いちごジャム 10g	千葉県 （製造工場）	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	24. 4. 26 9:00
2	ナタデココ 1kg袋 （固形600g）	山形県 （製造工場）	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	24. 4. 26 9:00
3	（冷凍）白 玉 餅	千葉県 （製造工場）	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	5.0Bq/kg未満	24. 4. 26 9:00

注1) 試験方法は、平成24年3月15日付け食安発0315第4号「食品中の放射性物質の試験法について」による。

注2) 上記結果は試料受付日時に減衰補正 (放射性核種の放射能の強さは時間とともに弱くなる。測定して得られるデータは測定時の放射能であり、知りたい時点での値は計算によって求める必要がある。) したものである。

お月見行事食のご案内

日頃より、当財団の商品をご利用頂きありがとうございます。

さて、9月（お月見）向け行事食として「月見団子」等の商品をご案内します。よろしくお願ひします。

今年の「十五夜」は、9月30日です。



①お月見団子（こしあん）
40g 〈港製菓〉

北海道産小豆を使用し、うさぎ型に仕上げた可愛い団子です。



②お月見まんじゅう（かぼちゃあん）
30g 〈明治〉

北海道産かぼちゃを使用し、可愛いうさぎの焼き印をおしました。



③お月見団子（つぶあん）
30g 〈北九食品〉

北海道産小豆を使用し、風味豊かな味わいに仕上げました。



④お月見くずまんじゅう（こしあん）
30g 〈かわた〉

タイ産小豆を使用した、ほどよい甘さの和菓子です。



⑤お月見（りんごゼリー）
40g 〈トーニチ〉

青森県産りんごピューレ・果汁を使用した美味しいデザートです。
上蓋のデザインは、ランダムに6種類です。



⑥お月見（ぶどうゼリー）
40g 〈トーニチ〉

山形県産デラウェア果肉をふんだんに使用した爽やかなデザートです。
上蓋のデザインは、ランダムに6種類です。



⑦うさぎのお月見ゼリー（アプリコット）
55g 〈カセイ〉

イタリア産レモン果汁を使用したゼリーに、南アフリカ産杏子のハーフカットを浮かべました。



⑧お月見団子（素甘）
10g × 3個 〈ピアット〉

甘さをおさえた丸い団子3つです。お月見になぞらえて1つを黄色く着色しました。



⑨お月見団子（カスタード）
10g × 3個 〈ピアット〉

子どもたちに好評のカスタード入りの小粒団子です。



⑩なかよしバーグCa入り
50g 〈印南養鶏〉

ゆで卵を砕いて、マヨネーズで調味した卵をレバーを配合した生地で包み込みました。



⑪愛媛県産 生むき栗
ハーフ (kg) 1/4カット (kg)

冷蔵商品です。
要予約 期間限定



祝事及び歳末等の行事食も時期に合わせて随時紹介していきますので、ぜひご活用ください。



(左・中) 紅白祝大福
(右) クリスマス用商品

◆ 編集後記 ◆

平成24年度も1学期が終了間近になりましたが、今後も引き続き安心・安全な食材の供給に努めるとともに、随時情報提供ができる「えひめの給食だより」の発行をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、県内に発信できる情報等ありましたらお知らせください。取材等させていただき情報提供として掲載できたらと思っておりますので、併せてお願いいたします。